

令和元年度第1回学校運営協議会報告（広尾中）

前回の会議で承認された教育課程を効果的に実施していくための学校経営計画（資料①）と具体的な取組事項（資料②）が、校長先生から示され、承認されました。

また、授業や行事をより充実させるために、下記の支援要望も出されています。協力できる方や適任者を知っている方は連絡をお願いします。

また、その後の「熟議」では、地域・家庭の具体的な方策が話し合われ、「家庭における挨拶」、「地域の行事や活動への参加促進」、「広尾町の歴史や産業などを知るための取組」について継続して検討することを決めました。

会議次第

1. 委嘱状手交
2. 開会挨拶 会長
3. 議事「広尾中学校の学校経営計画」
4. 説明「支援要望について」
5. 熟議「地域・家庭における方策」
6. 閉会挨拶 副会長

.....

新たに委員に委嘱された方
堀田晃三委員、松橋達美委員
土井誠人委員

学年・分掌	教科・領域	時期	支援を受けたい内容
学校行事	体育祭	5月下旬	応援の審査をしてもらう。
1年	総合		漁業、酪農、林業、防災などを体験して町のことを知る。（職場体験ではなく、町について知る。）
3年	家庭	2学期	保育実習を受け入れてくれる施設を紹介していただきたい。
学校行事	文化祭	9月下旬	焼き鳥など、バザーで出店を出してもらう。 合唱コンクールの審査を音楽の知識のある方をお願いしたい。
全学年	総合	12月	まよめの発表を参観してもらい、意見や感想をいただきたい。
1, 3年	数学	3学期	統計の学習で使う広尾町のデータを提供していただきたい。

連絡先：広尾中学校CS担当（01558-5-2089）

広尾町教育委員会社会教育課CSコーディネーター（01558-2-0181）

地域・家庭の取組

「地域・学校の教育環境の分析」を踏まえて挙げられた方策の実現可能性について議論しました。



学 校 経 営 方 針

校長 松 橋 達 美

1 広尾中学校学校運営協議会の重点教育目標

広尾町の自然、文化、歴史等について関心を持ち、郷土を愛する人を育てる。【郷土愛】

2 学校の教育目標

自ら学ぶ生徒 心豊かな生徒 たくましい生徒

3 経営目標

「子供の心に 種をまく教育の推進」

～ 子供に郷土愛と哲学を育てる学校 ～

子供たちが主体的に活動し、読解力と思考力、判断力、表現力、創造力を駆使して課題多き未来を切り拓き、豊かな人生を実現する力を育てる、若しくはその芽を出すための様々なアプローチをする。

教師の指導によって「良い子」に育てるのではなく、教師の指導によって「逞しく生きる大人」に成長させることを目標とする。社会には理不尽がたくさんある。その理不尽に出会っても、笑って乗り越えられる子供であってほしい。

○ 学習活動

～ 子供が自ら学ぶ授業、子供の気づきがある授業、郷土愛を育てる授業

○ 学校生活

～ 子供たちが地域の文化に親しみ地域に文化の風を吹かせる学校、子供の可能性を伸ばす経験が出来る学校

○ 日常生活

～ 郷土を土台とし、将来の目標と目的を持った生活、目標の実現に向け磨き合う仲間がいる生活

4 目標設定の背景

(1) 主体的に思考し行動する生徒を育てる

(2) 「広尾町の自然、文化、歴史等について関心を持ち、郷土を愛する人を育てる。」

【郷土愛】

① 各教科等において次の知識及び技能を身に付ける。

- ・ 伝統や文化への関心をもって、広尾町の歴史について調べたり、まとめたりするなどの技能を身に付ける。(社会)
 - ・ 広尾町に関係するデータを用いて標本調査の方法について理解する。(数学)
 - ・ 広尾町の身近な生物、地形、気象などの観察を通して、観察、実験などに関する技能を身に付ける。(理科)
 - ・ 郷土の伝統音楽の特徴と、その特徴から生まれる多様性を理解する。(音楽)
- ② 各教科等において次の思考力、判断力、表現力等を身に付ける。
- ・ 目的や場面に応じて、日常の中から話題を決め、集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討する。(国語)
 - ・ 学校所在地の特徴に着目して調査の手法やその結果を多面的・多角的に考察し表現する。(社会)
 - ・ 広尾町に関わるデータを用いて分布の傾向を読み取り、判断したり考察したりする力を養う。(数学)
 - ・ 生活や技術に関する実践的・体験的な活動を通して、広尾町の身近な生活の問題を見いだし解決する力を養う。(技術・家庭)
 - ・ 地域の行事などを話題にして英語を聞いたり読んだりして得られた情報や表現活用して話したり書いたりして事実や自分の考え、気持ちなどを表現する。(外国語)
 - ・ 広尾町や地域の課題を見いだし、具体的な対策を考え、実践し、地域や社会に参画できる力を養う。(特別活動)
- ③ 各教科等において次のような意欲や態度、人間性を醸成する。
- ・ 地域にある文化遺産のよさや美しさを感じ取る。(美術)
 - ・ 互いのよさを生かしながら、積極的に社会に参画しようとする態度を養う。(総合的な学習の時間)
 - ・ 郷土の伝統と文化を大切にし、社会に尽くした先人や高齢者に尊敬の念を深め、地域社会の一員としての自覚をもって郷土を愛し、進んで郷土の発展に努めようとする態度を養う。(道徳)
- (3) 変化の激しい21世紀の世界を逞しく生き抜く強さを育てる

5 目指す学校像

- (1) じりつ（自立、自律）した生徒を育てる学校
- (2) 郷土を愛し文化の香り溢れる学校
- (3) 生徒が現在から将来に渡る目標と目的を見つけられる学校
- (4) 生徒たちが月曜日に来たくてたまらない学校
- (5) 充実した研究と修養に努める教師と主体的に取り組む生徒の学校
- (6) 生徒の健康、安心・安全に配慮した教育活動が展開される学校
- (7) 教職員、保護者、地域が協働の精神で生徒たちを育てる学校
- (8) 生徒の「知」「徳」「体」をバランスよく育てる学校
- (9) 生徒が感動と自信を持って巣立っていく学校
- (10) コミュニティ・スクールとしての活動を推進する学校

6 目指す生徒像

- (1) 楽しく主体的に学習活動に取り組む生徒
- (2) 仲間と助け合って様々な活動に取り組む生徒
- (3) 時間を大切にし、整理整頓を実践する生徒

- (4) 目標に向かって自ら考え、目的を持って行動し、小さな挑戦を積み重ねる生徒
- (5) 順法精神を持ち、社会の秩序を大切にする生徒
- (6) 自らの生活をよりよくするための工夫を考えられる生徒
- (7) 郷土を始め様々な文化に親しみ、自らの感性を磨く生徒
- (8) 郷土を愛し、自分が大好き、仲間が大好きな生徒
- (9) 具体的な生徒像
 - ① 掃除・後始末をきちんとする姿、ゴミを拾う姿
 - ② 元気でその場に合った挨拶、返事をする姿
 - ③ 仲間と協力して仕事に取り組む姿
 - ④ 時間を意識し、先取りして行動する姿
 - ⑤ 素直な聴く姿勢と、正しい自己主張のバランスが取れている姿
 - ⑥ 郷土の行事に積極的に参加する姿
 - ⑦ 郷土をより良くしようと行動を起こす姿

7 目指す教職員像

- (1) 教師自らが、学習指導要領を熟知し、分かる授業の実現のために学び続ける姿。
- (2) 教師自らが、生徒たちを愛おしみ、寄り添って一緒に汗を流す姿。
- (3) 教師自らが、生徒の言葉を「傾聴」し一人一人の考えを掴んでいる姿。
- (4) 教師自らが、生徒の現在から将来に向けて手本となる好ましい挨拶・返事、言葉遣い、服装、人間関係づくり、職務環境づくりをする姿。
- (5) 教師自らが、自分が得た情報を適正に発信する姿。
- (6) 教師自らが、生徒や保護者、地域の人たちに謙虚な姿勢で接する姿。
- (7) 教師自らが、法を順守し生徒の模範として行動している姿。
- (8) 教師自らが、生徒に郷土の伝統と文化の素晴らしさを伝えている姿。
- (9) 教師自らが、整理・整頓・後始末に取り組んでいる姿。
- (10) コミュニティ・スクールの活動に積極的に参加し、郷土愛を育てるための教育課程を編成し、実行、反省、改善する姿。

8 生徒に身に付けてほしい学力

- (1) 主体的に物事を考え、行動する力。
- (2) 自らの力で読み取ることができる力。
- (3) 情報を得るために読書をする力。
- (4) 新しい情報に興味関心を持って取り組む力。
- (5) 獲得した情報を総合的につなげていく力。
- (6) 自らの考えを自分の言葉で表現できる力。
- (7) 情報を確かめ、取捨選択できる力。
- (8) 目標を持ち、それを実現するための見通しを考えられる力。

9 具体的な目標、取組

- (1) 全てのテストで平均点50点以上を目指す。
- (2) 読書を通し、読解力の基盤を作る。
- (3) 挑戦する心を発揮し、立候補する意識を持たせる。
- (4) 自分から挨拶する習慣づくり。
- (5) 立案、計画、実施、反省、改善のサイクルを身に付ける。
- (6) 全ての教科で、「討論」を大切にする。
- (7) 様々な活動を通してリーダーを育てる。

- (8) 活動には必ず「目標」と「目的」を持たせる。
- (9) 地域の人々との交流を大切にする。
- (10) 仲間を助ける行動を高く評価する。

10 平成31年度の経営の5つのキーワード

- (1) じりつ（自立・自律）の教育
- (2) C Sの中で郷土愛を育て感性を磨く
- (3) 目標と目的
- (4) 整理・整頓・後始末
- (5) 共生・協働

資料2

具体的な取組（実践）内容

重 点	取 組 ・ 実 践 等	担 当 者
1 じりつ（自立・自律）の教育	○道徳の時間を使って「自立」と「自律」の意識を育てる。	道徳推進教師 担任、副担任
	○生徒会活動を通しての、主体的な活動体験を重ねる。	生徒会担当
	○時間を大切にする指導を継続する。	全職員
2 C Sの中で郷土愛を育て感性を磨く	○各教科での地域人材の活用を図る。	教科担任
	○各教科での地域の施設等の活用を図る。	教科担任
	○広尾町の歴史、文化を学習する。	全職員
	○修学旅行を活かし、東京と比較する中から広尾町の良さを再認識させる。	3年団
3 目標と目的	○各学級において、生徒一人一人の目標の設定と反省を行う。	担任
	○部活動における目標を設定する。	顧問
	○道徳を通して、目標を立てた目的を理解する。	道徳推進教師他
4 整理・整頓・後始末	○清掃活動の意義の理解と、点検活動による生徒への意識化を図る。	生徒会保美委員会担当
	○大会等遠征における持ち物の整理整頓をする。	顧問
	○学習時における机上整理の徹底をする。	教科担当
5 共生・協働	○学校行事の準備作業を通して、仲間と助け合っていく体験を重ねる。	全職員
	○学級活動において助け合いの体験を重ねる。	担任
	○道徳の授業を通して、互いを認め合う心を育てる。	全教職員